

令和7年度 墨田区立菊川小学校 学校経営計画・経営報告書（自己評価・学校関係者評価）

作成者 校長 谷澤 あゆみ

学校教育目標	よく考える子 思いやりのある子 たくましい子
目指す学校像	すべての児童にとって自分の居場所があり、学びを積み重ねることが出来る学校、自分の個性をよさとして認め、より良い生き方を目指していける学校
目指す児童像	○学ぶ意欲をもち、基礎的・基本的な学習内容を身に付け、社会の変化に対応していく子 ○自己肯定感をもち、互いに認め合い、励まし合う、心豊かでやさしい子 ○自ら体を鍛え、自他の生命を尊び、健康で明るく元気な子
目指す教師像	○個々の専門性や持ち味を生かし、謙虚に学び高め合う教師 ○児童への愛情をもって接し、児童・保護者との信頼関係を築ける教師 ○「子供のためになるか」を評価尺度にし、協働して誠実な学校運営を進める教師

<p><b>令和7年度 学校経営計画における重点内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校に行くことが楽しいと感じられる学校             <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の良さや頑張りを認め、自己肯定感を高められる人間関係の構築</li> </ul> </li> <li>○安全で安心できる学校             <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会性の基礎となる礼儀やあいさつ、授業規律や規範意識を確立する生活指導</li> </ul> </li> <li>◎生きる力が身に付く学校             <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・基本の定着とともに、思考力・判断力・表現力を伸長させる学習活動</li> </ul> </li> <li>○教職員が協働して成果を出していく学校             <ul style="list-style-type: none"> <li>・主幹教諭、主任教諭が中心となり、各校務分掌の進行管理を行い、組織的な運営を機能させる。</li> </ul> </li> <li>○地域から信頼される学校             <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域への情報発信、学校や地域への愛着を育む教育と体験活動の充実</li> </ul> </li> </ul>
--

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価		
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等
	確かな学力を育てるための分かりやすい授業を実施する。	①課題解決型授業の学習過程を定着させ、児童が主体的に考える授業を展開する。 ②週3回朝自習、年2回自主学習週間に全学級取り組む。 ③ICTを活用した分かりやすい授業を実施する。	4 課題解決型の授業実施率90%以上	4	4 区学力状況調査で全学年が全国平均 +5ポイント以上	4	年3回の校内研究授業や、管理による授業観察を通して、後期学力調査の実施する。低学年でのノート指導、タブレット活用を重視する。		A	A	・学力調査に関する経年変化の資料も提示してほしい。
			3 課題解決型の授業実施率80%以上		3 区学力状況調査で全学年が全国平均 +3ポイント以上						
			2 課題解決型の授業実施率70%以上		2 区学力状況調査で全学年が全国平均を上回る						
			1 課題解決型の授業実施率70%未満		1 区学力状況調査の全国平均を上回る学年が3学年以下						
各教科指導等	特別な支援を必要とする子供に対しての組織的な支援を行う。	①特別支援コーディネーターを複数配置し、心理士、カウンセラーとの連携を図る。 ②連携型個別指導計画、まなびの教室連絡帳による学習状況の共有。保護者面談や保護者学習会の実施により、個に応じた指導を推進する。 ③月1回特別支援委員会、年3回特別支援校内研修会を実施し全教員の特別支援教育の理解を深める。	4 連携型個別指導計画に基づく指導の取組状況100%以上	4	4 校内特別支援委員会、校内研修会実施状況100%以上	4	まなび教員と担任、保護者の連携を密に取ることができ、目標達成による退室児童が複数名いた。通級児童の特性理解に努め、ねらいに応じた活動を工夫し、集団生活の適応を進めていく。		A	A	・会計年度任用職員を含めた全教職員間で、特性のある児童の情報を共有し、個に応じた適切な指導を進めてほしい。
			3 連携型個別指導計画に基づく指導の取組状況90%以上		3 校内特別支援委員会、校内研修会実施状況90%以上						
			2 連携型個別指導計画に基づく指導の取組状況70%以上		2 校内特別支援委員会、校内研修会実施状況70%以上						
			1 連携型個別指導計画に基づく指導の取組状況70%未満		1 校内特別支援委員会、校内研修会実施状況70%未満						
	教員の指導力・授業力を高めるための、組織的な取り組みを行う。	○校内OJT2回以上、校内研究授業年3回実施により指導力向上を図る。 ○人事考課の自己申告、授業観察を3回以上実施し、授業観察シートに基づいた指導を行う。	4 授業力向上のOJT及び研究授業の実施状況100%以上	4	4 教員自己評価による肯定的回答90%以上	4	年3回の校内研究授業では、主体的に学ぶ児童の育成を目指して、深い協議を行った。OJTではタブレット活用、自由進度学習による指導などを取り上げ研修を行った。		A	A	・区内外の指導教諭の模範授業を積極的に参観し指導力向上につなげてほしい。
			3 授業力向上のOJT及び研究授業の実施状況90%以上		3 教員自己評価による肯定的回答80%以上						
			2 授業力向上のOJT及び研究授業の実施状況70%以上		2 教員自己評価による肯定的回答70%以上						
			1 授業力向上のOJT及び研究授業の実施状況70%未満		1 教員自己評価による肯定的回答60%未満						
	問題行動の予防や解決に向けた組織的な取組を行う。 いじめ、不登校の予防や早期発見・早期対応を組織的に行う。	①いじめ防止アンケート、いじめ防止対応授業を計画的に実施する。 ②5年生の全員カウセリングを実施する。 ③いじめの訴えに応じ、いじめ防止対策委員会を立ち上げ、早期に対応する。	4 いじめ防止対応授業の実施4回以上	4	4 児童・保護者アンケートでいじめの事象に対する対応状況90%以上	3	思いやりの心や、規範意識の指導について、保護者の肯定意見は、84.3%であった。道徳、特別活動を通して、相手の気持ちを思いやることの大切さを考えさせる授業を行っている。		B	A	・児童が、担任やその他の居員に何でも相談できる学校であるとよい。 ・子供のストレス耐性の伸長も重要と考える。 ・他の人をリスペクトできる人間形成を望む。
			3 いじめ防止対応授業の実施3回以上		3 児童・保護者アンケートでいじめの事象に対する対応状況80%以上						
			2 いじめ防止対応授業の実施2回以上		2 児童・保護者アンケートでいじめの事象に対する対応状況60%以上						
			1 いじめ防止対応授業の実施2回未満		1 児童・保護者アンケートでいじめの事象に対する対応状況60%未満						
生活指導等	基本的な生活習慣・規範意識の確立・温かな人間関係を構築する心の教育の充実を図る	①挨拶、言葉遣いの指導を通年で行う。 ②考える道徳、議論する道徳授業を積みあげる。 ③学級会や学校行事を通して達成感や連携の喜びを味わわせる。	4 教員アンケートによる挨拶指導の組織的実施100%	3	4 保護者アンケートでの肯定的評価80%以上	4	毎朝登校時は相手の目を見て丁寧な挨拶が定着している。児童による挨拶の取組も効果を上げている。学校行事を通して学級への所属意識も高まっている。		B	A	・挨拶は、家庭教育が第一義的である。区としても発信していく必要がある。 ・来校者に挨拶する児童が少ない。
			3 教員アンケートによる挨拶指導の組織的実施90%以上		3 保護者アンケートでの肯定的評価70%以上						
			2 教員アンケートによる挨拶指導の組織的実施80%以上		2 保護者アンケートでの肯定的評価60%以上						
			1 教員アンケートによる挨拶指導の組織的実施70%未満		1 保護者アンケートでの肯定的評価60%未満						
	危機回避能力の育成や児童の安全を確保するための取組を行う。	①月1回避難訓練、安全点検、施設点検を計画的に実施する。 ②交通事故回避のための交通安全教室の実施。 ③不審者等からの危険回避能力の育成を図る。	4 避難訓練・安全教室・安全点検の取組状況100%	4	4 保護者アンケートでの肯定的評価90%以上	3	避難訓練はより実践的に行うために方法の見直しを行った。安全点検は年間計画通り確実に実施し、不審者侵入防止、対応を強化した。		B	A	・区内で不審者情報が相次いだので気を付けてほしい。
			3 避難訓練・安全教室・安全点検の取組状況90%以上		3 保護者アンケートでの肯定的評価80%以上						
			2 避難訓練・安全教室・安全点検の取組状況80%以上		2 保護者アンケートでの肯定的評価70%以上						
			1 避難訓練・安全教室・安全点検の取組状況80%未満		1 保護者アンケートでの肯定的評価70%未満						

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価				
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等		
学校の管理運営	経営方針に基づいた組織的な教育活動・学校運営等を行う。	①教職員が専門性や個性を発揮できるよう職場環境を整え、適材適所に配置する。 ②働き方改革を推進し会議の効率化を図る。 ③体罰の根絶をはじめ、服務等の規律を正し、適正な管理運営を図る。	4	教職員の自己評価・関係者評価の肯定的回答95%以上	4	4	保護者アンケートでの肯定的評価90%以上	3	教員の能力に応じた適材適所の分掌に配置し、育成を行った。学校経営方針の具現化に向けて教員がよく努力した。区小研や教師道場など研究の機会を通じて専門性を高めた。	月1回の服務事故防止研修を始め、報告・連絡・相談を徹底させ、服務事故防止を徹底する。働き方改革のために、定時退勤日を設け、長時間勤務の改善を図る。	B	B	・学校経営方針の具現化は教員組織に依るところが大きい。有能な人材確保を図っていただきたい。
			3	教職員の自己評価・関係者評価の肯定的回答90%以上		3	保護者アンケートでの肯定的評価80%以上						
			2	教職員の自己評価・関係者評価の肯定的回答80%以上		2	保護者アンケートでの肯定的評価70%以上						
			1	教職員の自己評価・関係者評価の肯定的回答80%未満		1	保護者アンケートでの肯定的評価70%未満						
学校の管理運営	児童の実態に合わせた教育目標・学校経営方針の設定及び適切な学校評価等と業務改善を実行する。	①週1回の経営会議、各分掌会議、日々の授業観察、自己申告により、組織的に課題解決が行われているか進捗状況を確認し適宜改善を図る。	4	各分掌会議の実施状況95%以上	4	4	保護者アンケートでの肯定的評価90%以上	4	学校公開や学校行事の実施後には必ず保護者アンケートを実施した。また教員の中間・期末の自己評価を行い学校運営全般の改善を行っている。	保護者や学校関係者の声を前向きに受け入れ、何が児童のためになるかを判断基準として改善を重ねていく。	A	A	・将来のコミュニティ・スクールを見据え、夏前から予算・人材について考えていきたい。
			3	各分掌会議の実施状況90%以上		3	保護者アンケートでの肯定的評価80%以上						
			2	各分掌会議の実施状況80%以上		2	保護者アンケートでの肯定的評価70%以上						
			1	各分掌会議の実施状況80%未満		1	保護者アンケートでの肯定的評価70%未満						
学校の管理運営	健康で安全な教育活動が行える環境・設備等を整える。	①月1回教員による環境整備、および安全点検を実施し、危険箇所を随時改善する。	4	安全点検の実施状況100%	4	4	保護者アンケートでの肯定的評価90%以上	3	月1回の定期的な施設点検の他、管理職や学校管理員による校舎内の見回りを毎日行い、必要な個所の修繕をすぐに行っている。	教室・廊下・階段の換気、採光に配慮し、感染症の防止に努める。不審者対応訓練、食物アレルギー発生時の対応訓練などの実践的な訓練を行っている。	B	A	・校庭の状況を踏まえ、不審者侵入防止対策について、区とよく協議してほしい。
			3	安全点検の実施状況90%以上		3	保護者アンケートでの肯定的評価80%以上						
			2	安全点検の実施状況80%以上		2	保護者アンケートでの肯定的評価70%以上						
			1	安全点検の実施状況80%未満		1	保護者アンケートでの肯定的評価70%未満						
家庭・地域連携	教育方針や日常の教育活動の様子などを積極的に伝える取組を行う。	学校公開、学校便り、各種たより、掲示板、ホームページの充実を図り、学校からの情報を積極的に発信する。	4	ホームページの更新状況 毎週2回以上	3	4	保護者アンケートでの肯定的評価90%以上	4	日常の授業風景や、学校行事、出前授業や体験的活動の様子をホームページに掲載し、家庭や地域への情報発信に努めてきた。	ホームページに掲載する写真については個人情報保護の観点から、個人が特定されないものを厳選し、できるだけ多く情報を提供していく。	A	B	・出前授業を積極的に取り入れている。 ・ホームページは保護者が学校を知る重要なツールになっていることからさらなる充実を図っていただきたい。
			3	ホームページの更新状況 毎週1回以上		3	保護者アンケートでの肯定的評価80%以上						
			2	ホームページの更新状況 隔週1回以上		2	保護者アンケートでの肯定的評価70%以上						
			1	ホームページの更新状況 隔週1回未満		1	保護者アンケートでの肯定的評価70%未満						
家庭・地域連携	保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行う。	保護者会、個人面談、学校運営連絡協議会等により、教職員と保護者、地域関係者とが連携して教育活動を推進する。	4	保護者会・保護者面談等の実施状況100%	4	4	保護者アンケートでの肯定的評価90%以上	4	個人面談では、家庭の協力により全家庭の保護者と面談ができた。月1回は来校の機会を作り、児童の活動の様子を参観していただくことができた。	学級だよりや学年だよりで児童の頑張りや成長を家庭に伝えられるように努めていく。怪我や体調不良の個別連絡は確実に行う。	A	A	・保護者が協力的で、学校行事の参加率・参観率が高い。
			3	保護者会・保護者面談等の実施状況90%以上		3	保護者アンケートでの肯定的評価80%以上						
			2	保護者会・保護者面談等の実施状況80%以上		2	保護者アンケートでの肯定的評価70%以上						
			1	保護者会・保護者面談等の実施状況80%未満		1	保護者アンケートでの肯定的評価70%未満						
家庭・地域連携	配慮を要する児童の課題解決のために、外部機関、外部人材を活用する。	児童相談所・子育て支援センター・民生委員等地域関連機関に協力を要請し、連携して課題解決を図る。	4	必要に応じた連携要請の状況95%以上	4	4	教職員の自己評価・関係者評価の肯定的回答95%以上	4	児童相談所・子育て家庭支援センター・SSW・民生委員・児童館と連絡を取り合い、ケース会議を開いている。情報共有が、よりよい指導・支援につながっている。	個別対応に必要な家庭の困り感を共有し、丁寧に解決に当たっていく。不審者関連では、地域町会とも必要に応じて情報共有を行っている。	A	A	・一人一人の児童を大切に考える学校の姿勢を継続してほしい。
			3	必要に応じた連携要請の状況90%以上		3	教職員の自己評価・関係者評価の肯定的回答90%以上						
			2	必要に応じた連携要請の状況80%以上		2	教職員の自己評価・関係者評価の肯定的回答80%以上						
			1	必要に応じた連携要請の状況80%以下		1	教職員の自己評価・関係者評価の肯定的回答80%未満						

○令和7年度 学校経営報告のまとめ（総括）

・学力向上・体力向上・豊かな心の育成の3つの柱の取組については計画的・組織的に実践に取り組み成果を上げてきた。特に「特色ある学校づくり推進校」として、年2回、2週間の菊スポタイムとトップアスリートを招いての出前授業を柱に全校で運動に取り組み、児童に運動の楽しさを味わわせ区内の小学校にその実践を発表することができた。

・挨拶をはじめとする基本的な生活習慣、規範意識の醸成も、発達段階に応じて身に付けることが出来ている。今後一層教師の指導力向上を図るとともに、ホームページ等を通じて教育活動の様子を積極的に発信していく。